

安全性

■環境ホルモンの含有量=0(ゼロ)

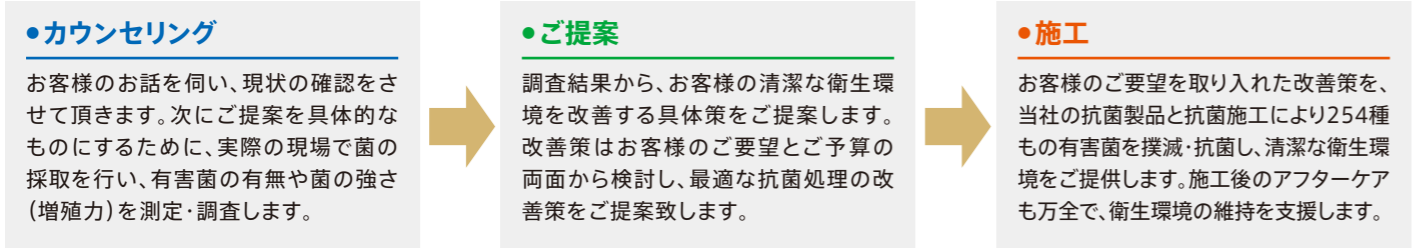
通産省は現在、環境ホルモンの該当する物質が105種類存在していると発表していますが、インナーミルには、この105種類に該当する物質は一切含まれていません。

■公的機関で証明された、極めて高い安全性

(財)日本食品分析センターにおいて、抗菌フレッシュコートシリーズが採用する抗菌・防かび剤インナーミルの高い安全性が証明されています。

| 試験名称 | 内容 | 取得番号 |
|-----------|--------------------|-----------------|
| 変異原性試験 | 陰性 | 第199021134-001号 |
| 皮膚一次刺激性試験 | 中等度刺激物 | 第199021134-002号 |
| 急性経口毒性試験 | LD50=23,000mg/kg以上 | 第199021134-003号 |
| 眼刺激性試験 | 軽度刺激物 | 第199021134-004号 |

悩まずに、まずはご相談ください！
プロの立場で的確にアドバイスいたします。



ムライケミカルパックの工法・製品紹介

工法 SYSTEM

断熱効果による省エネ・コスト削減・スレート再生工法
▶ **ケミカルカチオンパック工法**

外壁用反射・断熱塗材
▶ **ケミカルエコパック**

技術審査証明取得、「アスベスト」除去工法
▶ **ケミカルASR工法**

大・中・小型焼却炉のダイオキシン除去
▶ **ダイオキシン類除去工法**

外壁の若返り、リフレッシュ工法
▶ **ケミカルカチオンリフレッシュ工法**

製品 PRODUCTS

- 耐久性に優れた一液性金属用防錆塗料
▶ **ケミカルパックMPT-NT**
- 国土交通省大臣認定、アスベスト封じ込め材
▶ **ケミカル浸透性特殊樹脂**
- 溶剤溶液型合成樹脂化粧ペイント
▶ **ケミカルパックシリーズ**
- 電氣的に強力接着、カチオン性圧膜型弾性防水化粧塗料
▶ **ケミカルカチオン弾性塗料**
- 耐久性、防水性、耐薬品性に優れた合成樹脂吹付タイル
▶ **ケミカルタイルシリーズ**
- 自然石を使用した、重厚な天然石目調仕上げ塗材
▶ **ケミカルロックシリーズ**

他にもクオリティの高い製品を多数取り揃えています。詳しくはホームページへアクセスください。また、無料お見積り・ご質問等も受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

ムライケミカルパック株式会社
MURAI CHEMICAL PACK Co.,Ltd.

本社・工場 〒830-0053 福岡県久留米市藤山町696-5
TEL 0942-21-7667(代) FAX 0942-22-4570
E-mail : info@murai.co.jp

東京営業所 〒112-0002 東京都文京区小石川1丁目16-1
玉屋ビル3F
TEL 03-3816-7667 FAX 03-3816-7669

福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-14-1
スフィクス・センター4F(ハイアット・リージェンシー・福岡)
TEL 092-474-1618(代) FAX 092-413-2015

■ホームページアドレス
<http://www.murai.co.jp/>

作成年月日:2016年5月

抗菌 フレッシュコート

比類のない抗菌効果で254菌をシャットアウトし続ける抗菌塗料

Antibacterial Fresh Coat

建造物用塗料の企画開発から製造・施工まで一貫して取り組む特殊塗料メーカー
ムライケミカルパック株式会社
MURAI CHEMICAL PACK Co.,Ltd.

比類のない抗菌効果で254菌をシャットアウトし続ける抗菌塗料

抗菌フレッシュコート

抗菌塗料

特徴Ⅰ 卓越した抗菌・防かび性能

一般建築から高い頻度で検出される57菌をすべて含む254菌を完全にシャットアウトします。O-157、MRSA、レジオネラ菌にも高い殺菌・抗菌効果を発揮します。

特徴Ⅱ 極めて高い安全性

抗菌フレッシュコートが採用する抗菌・防かび剤は、環境ホルモンに該当する物質を一切含んでおらず、その極めて高い安全性が公的機関により確認されています。

特徴Ⅲ 耐久性に優れた塗膜性能

抗菌フレッシュコートシリーズの塗料はすべて、さまざまな悪条件下における耐久性試験をクリアしており、高い塗膜性能を有していることが証明されています。

特徴Ⅳ 最適な環境改善策をご提案

抗菌フレッシュコートシリーズの中から、お客様のニーズに最も適した製品をセレクトし、最善の環境改善策をご提案します。有害菌の検出、測定診断もお任せください。

抗菌性

■比類のない、幅広い抗菌スペクトル

世界微生物災害防止学会において確認された、一般建築物から高い頻度で検出される菌は57種類に上ります。

抗菌フレッシュコートは、それらの57菌をすべて含む254菌に対して高い抗菌性を有しており、その幅広い抗菌スペクトルは他社製品を圧倒します。

| | | |
|----|-------------|-------------------|
| 細菌 | バクテリア ……70菌 | 藻類 ……25菌 |
| カビ | かび ……159菌 | 合計 …… 254菌 |

■食中毒や院内感染等の原因菌にも有効

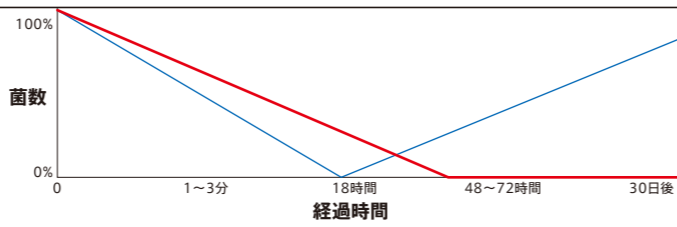
O-157等の食中毒菌、MRSA等の院内感染菌、レジオネラ等のシックビル症候群原因菌による人体への悪影響が昨今社会問題化しており、各方面でその対策が急務となっています。

抗菌フレッシュコートに配合されている抗菌・防かび剤は、上記何れの菌にも高い抗菌性を有しており、その有効性が(財)日本食品分析センターにより証明されています。

| 財団法人日本食品分析センター | | |
|----------------|----|-------------|
| 試験名称 | 内容 | 取得番号 |
| O-157殺菌抗菌試験 | 有効 | 第190890293号 |
| MRSA殺菌抗菌試験 | 有効 | |
| レジオネラ殺菌抗菌試験 | 有効 | |

■長期間に渡る抗菌効果の持続性

数十回にも及ぶ菌数減少試験により、無機系抗菌剤では試験開始後18時間で残菌率がほぼ0.0%となるものの、48～72時間の間に再び増殖が始まること、また、インナーミルでは48～72時間で残菌率が0.0%になった後、長期間に渡ってそのまま効果が持続することがわかっています。



■MIL STD変法による評価試験をクリア

MIL STD変法(MIL-STD-810D METHOD, 508.3)はJIS規格と比較して、試験菌の数、培養時間、培地等すべてにおいて格段に厳しい条件下で実施される米軍規格のかび抵抗性試験です。同試験法は、世界で最も実際の現場に即した設定促進試験の一つと言われています。評価は0～4の5段階で、0が「菌の発育なし」で最高評価とされます。

抗菌フレッシュコートの各製品は試験の結果、**評価0「菌の発育なし」**の最高評価でした。

※培養期間は28日～60日間で行い、試験菌は発生頻度の高い57菌に加え、JIS試験菌を含む62菌を採用(28日間の培養で3～5年以上の実質上の評価基準)。

着色タイプ

水性で環境に優しい上塗剤 アクアクリーンコート

種類 水性シリコンアクリル系抗菌塗料 **低臭・水性タイプ**

安全で取り扱いが容易

耐水性に優れ汚れがつきにくい

室内外部で使用可能

お好みのカラーにコーディネート

抗菌効果が長期間持続

優れた塗膜耐久性

アクアクリーンコート下塗り剤 アクアクリーンベース

種類 水性シリコンアクリル系シーラー **低臭・水性タイプ**

接着性に優れる

高い浸透抑止効果を発揮

既存のかびを減少させ増殖を防ぐ

アクアクリーンコート標準仕様

| 工程 | 塗装回数 | 作業内容 | 使用量(g/m ²) |
|------------|------|------------------------|------------------------|
| 下地処理 | — | 必要に応じて処理すること※1 | — |
| アクアクリーンベース | 1 | 均一に攪拌後無希釈で塗装 | 100～150※2 |
| アクアクリーンコート | 2 | 正確に希釈(10%以内)し、均一に攪拌後塗装 | 250～300 |

用途 一般建築物の内外装等

下地 コンクリート、フレキシブルボード、各種既設塗膜面等

クリアタイプ

低臭で優しくカバー フレッシュコートW

種類 水性シリコンアクリル系抗菌剤 **低臭・水性タイプ**

ほとんどの既設塗膜に適合

既設塗膜に光沢を与える

低臭のため市街地での塗装に最適

耐水性に優れ汚れがつきにくい

抗菌効果が長期間持続

優れた塗膜耐久性

抗菌フレッシュコートW標準仕様

| 工程 | 塗装回数 | 作業内容 | 使用量(g/m ²) |
|-------------|------|----------------|------------------------|
| 下地処理 | — | 必要に応じて処理すること※1 | — |
| 抗菌フレッシュコートW | 1 | 均一に攪拌後無希釈で塗装 | 100～150※2 |

用途(適用範囲) 一般建築物内部等(壁・天井・床)

下地 コンクリート、モルタル、クロス、床下調合板、ボード類、ジプトン等

※1 殺菌・漂白等を行ない付着物を除去する。殺菌・漂白剤を使用した場合は塗装前に水拭きを行なってください。

※2 下地の吸込みがある場合は使用量及び塗装回数を増やしてください。